

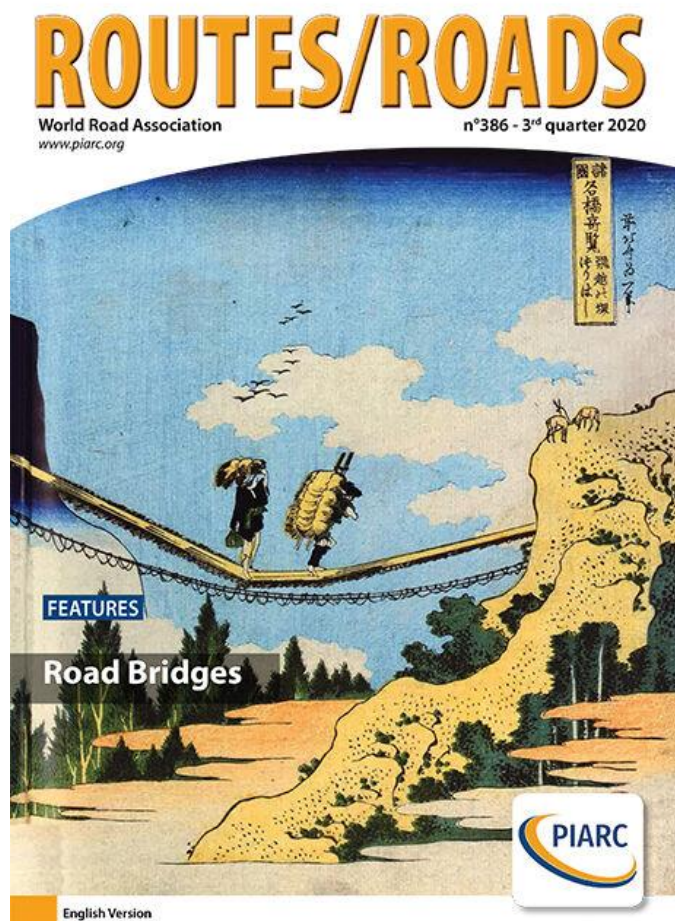
令和3年1月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い致します。ROUTES/ROADS 第 386 号のご案内とともに、日本国内委員会よりお知らせです。本号では道路橋について特集が組まれており、道路橋の点検補修、安全性、長寿命化に関する維持管理分野を中心に世界各国の取り組みが紹介されています。わが国からは、本州四国連絡高速道路株式会社の取り組み（23～28 ページ）が紹介されていますのでぜひご覧ください。またご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、本号表紙は、葛飾北斎による諸国名橋奇覧のひとつ「飛越の塚つりはし」です。

1. ROUTES/ROADS 386 号 巻頭記事



【今号の特集】

道路橋の安全性や点検補修等に関する取り組み

【今号の発行にあたって】

PIARC 事務局長の巻頭挨拶（P3）でも触れられていますが、2020 年は新型コロナウイルス感染が世

界中で拡大する中で PIARC 業務の効率的な進め方を検討、実施することに多くの時間を費す 1 年となりました。幸いにして 2020 年 1 月から 2 月にキックオフミーティングを開催することができ、新しいメンバーが直接顔をあわせ作業計画を策定する機会を得ることができましたが、その後の感染拡大の影響により、各技術委員会のほか、実行委員会や年次総会もオンライン会議にて開催、Eメール審議や電子投票により議題が審議されました。

PIARC の戦略計画委員会においては、この感染拡大が現戦略計画に掲げられている各技術委員会の検討課題（Issue）にどのような影響を及ぼすかという点に関して議論されました。現時点で業務仕様書（ToR）を変更するものではないものの、コロナの影響を念頭に置き、各委員会は作業を進めるという方針を、PIARC 内において共有しました。

しかしながら、対面式で直接関係者が顔をあわせて議論することの重要性は広く PIARC 関係者間において認識されており、本年は出来る限り早く通常通り対面式の会議が開催できることを願う限りです。

2. 今号の主な記事の紹介

✓ PIARC 活動報告 —4 頁

【今号の特集】

✓ 道路橋の安全性と長寿命化 —23 頁

✓ 本州四国連絡橋における橋桁へのアクセス設備改良 —24 頁

✓ UAV を用いたコンクリートの剥離及びひび割れの検出

	—29 頁
✓ 高速道路橋の安全性に関する意思決定	—33 頁
✓ 道路橋維持管理における最適工法（補修/改築）の選定手法	—37 頁
✓ ジェノバでの新橋梁プロジェクトへの参画	—42 頁
✓ 火災被害を受けた斜張橋の安全性評価	—44 頁
✓ 点検補修の効率化を考慮した橋梁設計	—49 頁
✓ 橋梁補修・改築工法の評価プロセス	—54 頁

- ・ 道路の安全性
- ・ レジリエンスと気候変動
- ・ 労働力
- ・ セキュリティ
- ・ 道路交通分野に従事する女性への影響
- ・ 低中所得国への影響

3. PIARC レポートのご紹介

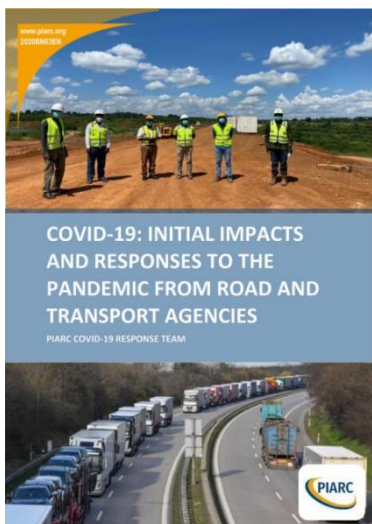
【レポート名】

COVID-19 パンデミック初期における道路交通機関への影響及びその対応

COVID-19: initial impacts and responses to the pandemic from road and transport agencies

【レポート概要】

PIARC では 2020 年 3 月に新型コロナ感染拡大に対応すべく COVID-19 レスポンスチーム (CRT) を立ち上げました。CRT は各国の道路交通機関が受ける影響及びその対応策に関し、PIARC メンバー間での知識と実践の共有を目的にウェビナーを開催してきました。本レポートでは今までのウェビナーを通じて得られた教訓を取りまとめています。以下はレポートに含まれる内容の一部となります。



■パンデミック初期に見られる検討課題

- ・ 各国施策
- ・ 道路及び道路交通分野への影響
- ・ 道路事業関連社員及び道路利用者の健康と安全
- ・ 道路事業の継続性
- ・ 道路建設事業への影響
- ・ 道路事業者と道路利用者及びステークホルダーとの関係性
- ・ 事業再開時やロックダウン緩和開始時に道路事業に見られる事象

■トピック別の検討課題

- ・ 貨物輸送
- ・ 都市部のモビリティと道路空間管理
- ・ 道路ネットワーク管理

●本レポートは PIARC ウェブサイトより入手いただけます。また、これまでのコロナウェビナー動画、各国の発表資料もダウンロード可能です→

PIARC ウェブサイト



4. 第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会

第 16 回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称：カルガリー冬期大会）が、2022 年 2 月 8 日から 11 日の間、「Adapting to a changing World」の大会テーマのもとカナダ・カルガリー市で開催されます。

現在 PIARC では論文概要を募集しており、提出締め切りは、2021 年 1 月 31 日となります。日本からは多くの概要をご提出いただいておりますが、まだ締め切りには間に合いますので、ご検討中の皆さまはぜひよろしくお願ひします。

大会の詳細及び論文概要の提出につきましては、日本道路協会ウェブサイトをご参照ください。



PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局（日本道路協会）
安藤： ando@road.or.jp

PIARC パリ本部事務局
武内： jun.takeuchi@piarc.org

今後とも皆様のご理解・ご協力を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局